

平成

28 年度 事務事業評価シート

事務事業の概要・計画（PLAN）

事務事業名	県施設公園管理運営事業	会計名称 予算科目	一般会計 8 款 5 項 2 目	事業番号	3759	担当課 所属長名	都市住宅課 三谷 陽紀
事業評価の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 評価対象事業 <input type="checkbox"/> 評価対象外事業（事業の概要・結果のみ）					担当責任者名	皆川 竜男
法令根拠等	自然公園法、伊予市公園条例					実施期間	【開始】 平成 17 年度 【終了】 平成 年度(予定) ■ 設定なし
総合計画での位置付け	快適空間都市の創造 住みやすい都市空間づくり						
総合計画における本事業の役割	自然にふれあえる環境づくりに努める。						
事業の対象	五色浜海浜公園、大谷池（愛媛森林公園）利用者	事業の目的	だれもが自然にふれあえる環境づくりを目指して、施設の整備及び維持管理を行う。				
事業の内容 (整備内容)	県施設公園の維持管理	昨年度の課題に対する具体的な改善策					

事業活動の内容・成果（DO）

事業費及び財源内訳（千円）							事業活動の実績（活動指標）					
項目	前年度決算	当初予算額	補正予算額	継続費その他	翌年度繰越	決算額	項目	単位	27年度実績	28年度予定	9月末の実績	28年度実績
直接事業費	9,889	11,766	0	0	0	10,951	光熱水費	千円	1490	1720	836	1543
国庫支出金		0	0	0	0	0	修繕料・工事請負費	千円	662	1685	451	1553
県支出金		0	0	0	0	0	委託料	千円	7314	8110	4230	7418
地方債		0	0	0	0	0						
その他の	517	367	0	0	0	373						
一般財源	9,372	11,399	0	0	0	10,578						
職員の人工（にんく）数	0.20	0.20				0.20						
1人当たりの入件費単価	8,042	8,086				8,086						
※ 直接事業費+入件費	11,497	13,383				12,568						
主な実施主体	直接実施	実施形態（補助金・指定管理料・委託料等の記載欄）					施設利用者数	人	241900	242000	183000	240440
向こう5年間の直接事業費の推移（千円）							29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	5年間の合計
成 果 指 標	指 標	今年度の利用者数÷過去2年間平均利用者数				単位	→	区分年度	27年度	28年度	29年度	目標毎年度
								目標	1.01	1.01	1.01	1.01
	指標設定の考え方	県施設公園の利用者数を事業の評価と考えた。				実績		1.09	1			
		指標で表せない効果										

事務事業評価（CHECK）

新たな課題や当初の改善策に対する対応状況（今年度の途中経過）												
事務事業の評価	自己判定～担当責任者（	妥当性	目的の妥当性	5 施策の目的を果たすために必要不可欠な事業である。 4 概ね、施策の目的に沿った事業である。 3 この事業では施策の目的を果たすことができない。	3	合計点が 14～15：S 10～13：A 8～9：B 5～7：C 3～4：D	B	事業成果・工夫した点	五色姫海浜公園については、国体に向けてビーチハウスの改修を県へ依頼し、実施する運びとなった。また、大きくなりすぎた樹木の伐採を市において実施した。			
			社会情勢等への対応	5 社会情勢等のニーズに合致する。又は、行政管理上必要な事業である。 4 社会情勢に概ね適合する。又は、行政管理上、概ね妥当である。 3 社会情勢又は行政管理事務に対応しておらず、見直しが必要である。	3							
			市の関与の妥当性	5 市が積極的に関与・実施すべき事業である。 4 今のところ市の関与・実施は妥当と判断できる。 3 市は関与しないで、民間や市民団体等に委ねるべきである。	3							
		有効性	事業の効果	5 市民生活の課題、又は行政内部の課題解決に大いに貢献している。 4 市民生活や行政内部の課題解決に向けて対応できている。 3 市民生活や行政内部の課題解決になっていない。	3	合計点が 14～15：S 10～13：A 8～9：B 5～7：C 3～4：D	B	事業の苦労した点・課題	国体に向けて、快適に利用できる環境整備に努める必要がある。			
			成果向上の可能性	5 既に相応の成果を得ているが、まだまだ成果向上の余地がある。 4 今後、成果の向上が期待でき、事業継続の必要がある。 3 目的は十分達成されており、事業継続の必要性は低い。	3							
	業の評価	一次判定～所属長（	施策への貢献度	5 施策推進への貢献は最大である。 4 施策推進に向け、効果を認めることができる。 3 施策推進につながっていない。	3							
			手段の最適性	5 現状では最善の手段であり、他の方策を検討する必要はない。 4 最適な手段であるが、更に民活、他事業との統合・連携等の検討の余地がある。 3 活動指標の実績も上がりらず、効率的な手段の見直しが必要である。	3	合計点が 14～15：S 10～13：A 8～9：B 5～7：C 3～4：D	B	事業の方向性	■ 事業継続と判断する。 □ 事業縮小と判断する □ 事業廃止と判断する (判断の理由)			
			コスト効率	5 投入コスト以上の成果を得ており、コスト削減の余地は見当たらない。 4 コスト削減に向けた取り組みを実施し、それに見合う成果を得ている。 3 満足する成果にも達せず、まだまだ事業費・人件費の削減余地がある。	3							
			市民（受益者）負担の適正	5 他事例と比較し、財源・税負担も含め市民負担の検討の余地がある。 4 他事例と比較し、財源・税負担も含め市民負担の検討の余地がある。 3 他事例と比較し、財源・税負担も含め市民負担の見直しが必要である。	3			五色姫海浜公園、大谷池の施設管理に係る事業であり、市内外から多くの利用者がおり、適正な管理を行う必要があるため。				
			目的の妥当性	5 施策の目的を果たすために必要不可欠な事業である。 4 概ね、施策の目的に沿った事業である。 3 この事業では施策の目的を果たすことができない。	3	合計点が 14～15：S 10～13：A 8～9：B 5～7：C 3～4：D	A	所属長の課題認識	五色姫海浜公園は次年度、国体の競技会場になっており、多くの人が訪れることが予想されるため、施設の不具合な箇所について、改修を早期に実施する等、快適な環境整備に努める必要がある。			

施 策 を 踏 ま え た 判 断	二 次 判 定	<input type="checkbox"/>	一次判定結果は以下の点について良好と評価し、更なる事業推進を求める。	 <p>指摘事項を踏まえ、事務改善、事業推進に努め、今年度の事務事業評価シートに反映させること。</p>
			一次判定結果のとおり事業継続と判断する。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。 夏季夜間警備については苦慮しているが、実施にあたっては雨天時の人員は、晴天時より少なくなる特記仕様書とし経費節減に繋がることを検討されたい。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定は以下の点について外部評価が必要と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業縮小と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業廃止と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
		<input type="checkbox"/>	既に事業廃止が決定していることから、廃止に向けた手続を行う。	

行政評価委員会の答申	外 部 評 価	答申の内容
------------	------------------	-------

今後の方向性 (ACTION)

の経 最 終 者 判 会 議	事業の方向性	コメント欄	
		<input type="checkbox"/>	さらに重点化する。
		<input type="checkbox"/>	現状のまま継続する。
		<input checked="" type="checkbox"/>	右記の点を見直しの上、継続する。
		<input type="checkbox"/>	事業の縮小を行う。
		<input type="checkbox"/>	事業の休止、廃止を行う。